

DI (Diffusion Index=景気動向指数) とは
各調査項目について、好転企業割合から、悪化企業
割合を差し引いた値を示し、景気の現状把握や将来
の見通し予測を行う。

DIがプラスなら……好転、上昇基調
DIがマイナスなら……悪化、下降基調

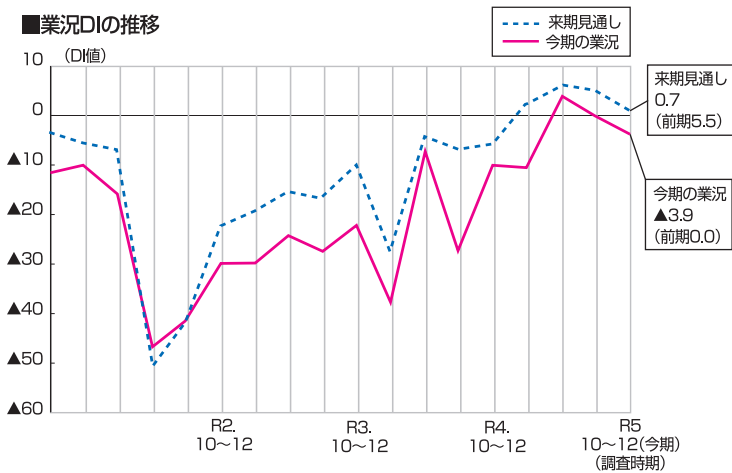
記号の見方

DI値	▲25P以下	▲25～ ▲10P未満	▲10～ 10P未満	10～ 25P未満	25P以上
景況	特に悪化 ↓	悪化 ↘	横ばい →	好転 ↗	特に好転 ↑

鹿児島商工会議所 景況調査

調査期間 令和5年10～12月
回答企業数 156社

■業況DIの推移



今期業況は前期に引き続き低調。各産業の来期見通しも横ばいが続く。

【今期(令和5年10～12月期)の業況】
全産業の業況DI値は、▲3・9
(前期比マイナス3・9ポイント)
と前期から後退。産業別で見ると建設業、卸売業、サービス業が落ち込んでおり、反対に製造業が前期比プラス13・3ポイントと大幅に好転している。

【来期(令和6年1～3月期)の見通し】
全産業の来期見通しは、0・7
(前期時の来期見通し5・5からマイナス4・8ポイント)と落ち込みが見られた。産業別においても軒並み横ばいの状況となっている。

■産業別DI値表

		前期 [R5.7～9] (A)	今期 [R5.10～12] (B)	増減 (B)-(A)	来期見通し [R6.1～3]	
業況	全産業平均	0.0	▲3.9	▲3.9	0.7	→
	製造業	▲21.2	▲7.9	13.3	5.6	→
	建設業	13.6	0.0	▲13.6	▲7.4	→
	卸売業	3.4	▲8.0	▲11.4	3.8	→
	小売業	▲3.4	0.0	3.4	3.7	→
	サービス業	10.5	▲2.9	▲13.4	▲2.9	→
売上額	全産業平均	18.5	2.6	▲15.9	1.9	→
	製造業	6.3	0.0	▲6.3	8.1	→
	建設業	4.3	10.7	6.4	▲17.9	↘
	卸売業	27.6	19.2	▲8.4	11.5	↗
	小売業	23.3	0.0	▲23.3	32.1	↗
	サービス業	27.0	▲11.4	▲38.4	▲19.4	↘
資金繰り	全産業平均	▲10.6	▲12.4	▲1.8	▲5.9	→
	製造業	▲18.8	▲10.8	8.0	0.0	→
	建設業	▲13.0	▲14.3	▲1.3	▲21.4	↘
	卸売業	▲6.9	▲7.7	▲0.8	▲7.7	→
	小売業	▲23.3	▲14.8	8.5	11.1	↗
	サービス業	5.4	▲14.3	▲19.7	▲11.4	↘
採算	全産業平均	▲4.6	▲3.3	1.3	▲3.9	→
	製造業	▲18.8	▲13.2	5.6	2.6	↘
	建設業	▲8.7	▲3.6	5.1	▲25.0	↘
	卸売業	▲3.6	0.0	3.6	11.5	↗
	小売業	▲3.3	3.8	7.1	7.4	→
	サービス業	7.9	0.0	▲7.9	▲13.9	↘

【今期の売上額・資金繰り・採算】
全産業の売上額DI値は、2・6
(前期比マイナス15・9ポイント)
となり、産業別では建設業が10・7
(前期比プラス6・4ポイント)で
唯一改善を見せた。

全産業の資金繰りDI値は、▲
12・4 (前期比マイナス1・8ポイ
ント) となり、産業別では製造業、
小売業で改善が見られた。

全産業の採算DI値は、▲3・3
(前期比プラス1・3ポイント)と
わずかに改善。産業別ではサービ
ス業以外の全産業で前期から改善が
見られている。

【回答企業のコメント】
・コロナ関連の融資返済時期の延
期交渉を行っているため、今後の
営業範囲拡大にむけた資金の確
保が難しい状況にある(製造業)

・10月以降に原材料・包材等の値上
が多く、これを商品価格にうまく
転嫁できていない状況にある(卸
売業)

・仕入値の上昇に需要の停滞が重
なり、売上が伸び悩んでいる(小
売業)